

第3期二ホンヅカ管理計画
令和8年度事業実施計画

資料編

令和8年4月

兵庫県

目 次

1	これまでの経過と現状	1
(1)	これまでの取組	1
(2)	防護柵の設置状況	2
(3)	捕獲数の推移	3
(4)	免許種別狩猟者数の推移	4
(5)	年代別狩猟者割合の推移	4
(6)	密度指標の空間分布	5
(7)	密度指標の変化	5
(8)	妊娠率の推移	10
(9)	シカによる農林業被害の推移	11
(10)	スマート獣害対策モデル育成事業の取組	14
(11)	指定管理鳥獣捕獲等事業の取組	14
(12)	下層植生被害の推定分布	15
(13)	推定生息数の状況	17
(14)	災害に強い森づくり（野生動物育成林整備等）の実施状況	18
2	計画の実施体制	20

その他の研究成果などについては、兵庫県森林動物研究センターのホームページを参照願います

<https://wmi-hyogo.jp/>

1 これまでの経過と現状

(1) これまでの取組

第1期ニホンジカ管理計画策定前の、メスジカ狩猟獣化が行われた平成6年度以降の取組は以下のとおり（表-1）

表-1 ニホンジカ被害対策 これまでの取組
その1 ~第4期保護管理計画（平成6年度~平成26年度）

単位：頭

年度	計画	内 容	捕獲目標	捕獲実績
H6	—	本州部40（現15）市町でメスジカ狩猟獣化	—	5,755
H10	—	狩猟期間延長（12/1~1/31→11/15~2/15）：環境省	—	8,985
H12	第1期 保護管理	本州部63（現26）市町でのメスジカ狩猟獣化	8,000	9,923
H13		個体群管理事業の開始		11,246
H14	第2期 保護管理	県単独での防護柵設置への助成開始	12,000	12,035
H15		本州部63（現26）市町での 狩猟期間の延長（11/15~2/15→11/15~2末） 1日当たりの捕獲制限緩和（1頭→2頭） 本州部63（現26）市町と淡路地域6（現3）市町での メスジカ狩猟獣化		13,447
H16				13,190
H17				15,078
H18				14,000
H19	第3期 保護管理	県下全域での 狩猟期間の延長（11/15~2/15→11/15~2/末） メスジカ狩猟獣化	16,000	16,241
H20		全国でメスジカ狩猟制限廃止：環境省		19,744
H21	第3期 保護管理	第3期シカ保護管理計画第1次変更 本州部での 狩猟期間の延長（11/15~2/末→11/15~3/15） 捕獲制限撤廃（1人2頭→無制限） 地域別捕獲目標の設定 淡路地域での 捕獲制限緩和（1人1頭→2頭） 直径12cm以上のくくりわな解禁 県下全域での わな猟捕獲促進、新型捕獲方式の開発・普及	20,000	20,106
H22		第3期シカ保護管理計画第2次変更 本州部での 地域別捕獲目標の増 淡路地域での 捕獲制限撤廃（1人2頭→無制限） 狩猟期間の延長（11/15~2/末→11/15~3/15） 地域別捕獲目標の設定 県下全域での 狩猟報奨金制度創設、個体数調整事業の拡充、 わな猟による捕獲促進、新型捕獲方式の開発・普及		30,000
H23				34,884
H24	第4期 保護管理		30,000	31,835
H25		ストップ・ザ・獣害事業の開始	35,000	38,992
H26				45,461

その2 第1期管理計画～第3期管理計画（平成27年度～令和7年度）

単位：頭

年度	計画	内 容	捕獲目標	捕獲実績
H27	第1期 管理		35,000	45,569
H28		指定管理鳥獣(シカ)捕獲等事業開始	45,000	43,682
H29	第2期 管理	全国で1日あたりのシカ捕獲頭数制限の廃止：環境省	45,000	37,676
H30		捕獲専門家チーム制度創設	46,000	37,234
R1		鳥獣対策サポーター派遣支援事業実施		40,937
R2		獣害対策ローラー作戦により総合的な被害対策実施		46,186
R3		捕獲重点化市町・要注意市町指定		48,763
R4	第3期 管理	捕獲数管理ユニットの設定、姫路市家島町での直径12cm以上のくくりわな解禁 被害集落自立サポート事業実施	46,000	43,073
R5			46,000	43,029
R6			46,000	42,032
R7		スマート獣害対策モデル育成事業実施	46,000	

(2) 防護柵の設置状況

シカ、イノシシの農地への侵入を物理的に防止するため、西播磨地域、但馬地域、淡路地域を中心に、各種補助制度を活用した防護柵の設置が進んでおり、令和6年度までに累計で11,748kmが設置されている（表-2）。

表-2 防護柵の設置状況（令和6年度までの実績）

単位：km

県民局	国庫	県単独	自治振	市町単	その他	計
神戸	402	0	0	69	0	470
阪神南	0	0	0	16	0	16
阪神北	297	0	6	171	3	478
東播磨	34	2	0	41	16	93
北播磨	494	130	68	785	0	1,478
中播磨	335	191	113	67	18	724
西播磨	319	504	253	835	135	2,046
但馬	1,101	269	430	923	5	2,728
丹波	572	136	30	495	84	1,317
淡路	1,497	172	145	579	6	2,399
県計	5,051	1,406	1,045	3,980	266	11,748

※自治振とは、県単独の自治振興事業

※その他とは、中山間直接支払い、県民局事業で設置したもの

※四捨五入のため、内訳数字の計と合計数字が一致しない場合がある。

(3) 捕獲数の推移

兵庫県ではシカの個体数増加を主な原因として急増した農林業被害を軽減するため、平成6年度以降のメスジカ狩猟解禁、猟期の延長および頭数規制の緩和などの施策により、平成21年度までに年間捕獲頭数を約2万頭まで順次増加させた。

平成22年度には、森林動物研究センター(平成19年度設置)の研究成果により、それまで5万頭前後と考えられていた県内のシカ生息数が約15万頭程度(当時)生息しており、毎年3万頭以上を捕獲しなければ生息数が減少に転じないことが明らかになったため、当時のシカ保護管理計画を変更し、年間3万頭の捕獲目標を掲げて、狩猟報奨金制度の創設や有害捕獲補助制度の拡充、新たな捕獲体制の整備等を行った結果、3万5千頭を超える捕獲実績となった(図-1)。

以後これらの施策を継続拡充することにより、毎年4万5千頭前後を捕獲しており、その6割近くが個体数減少に効果的とされるメスの捕獲となっている(図-2)。

令和4年度以降は捕獲目標である4万6千頭を達成していないため、捕獲数の増加に向けた方策を検討する必要がある。

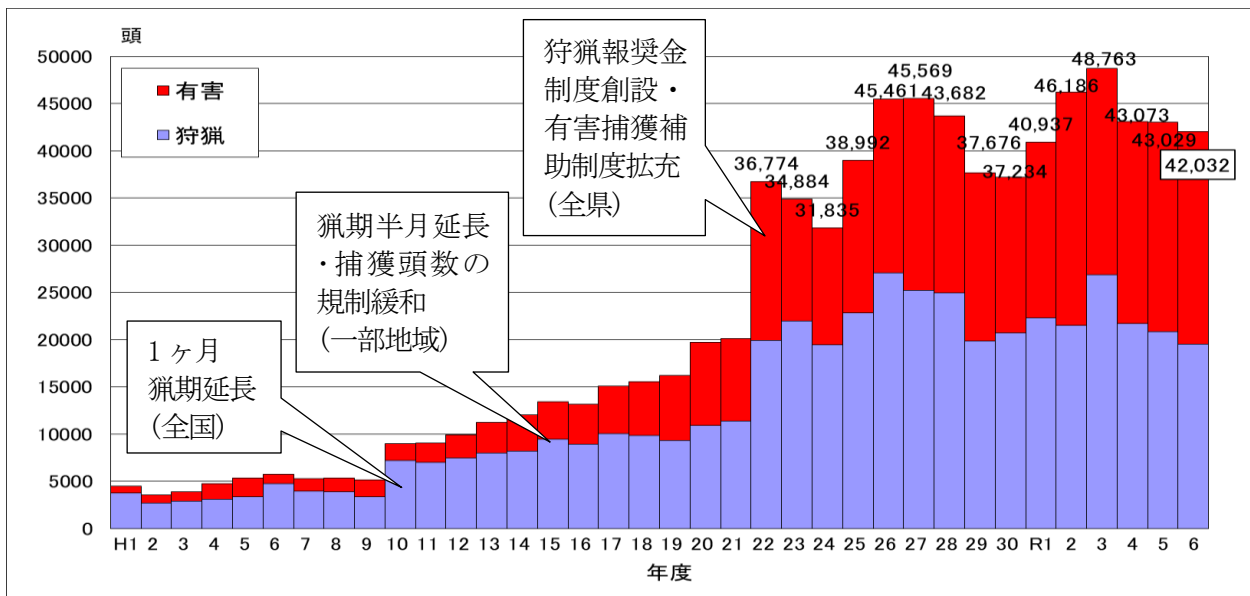


図-1 捕獲数の推移 (狩猟捕獲・有害捕獲別)

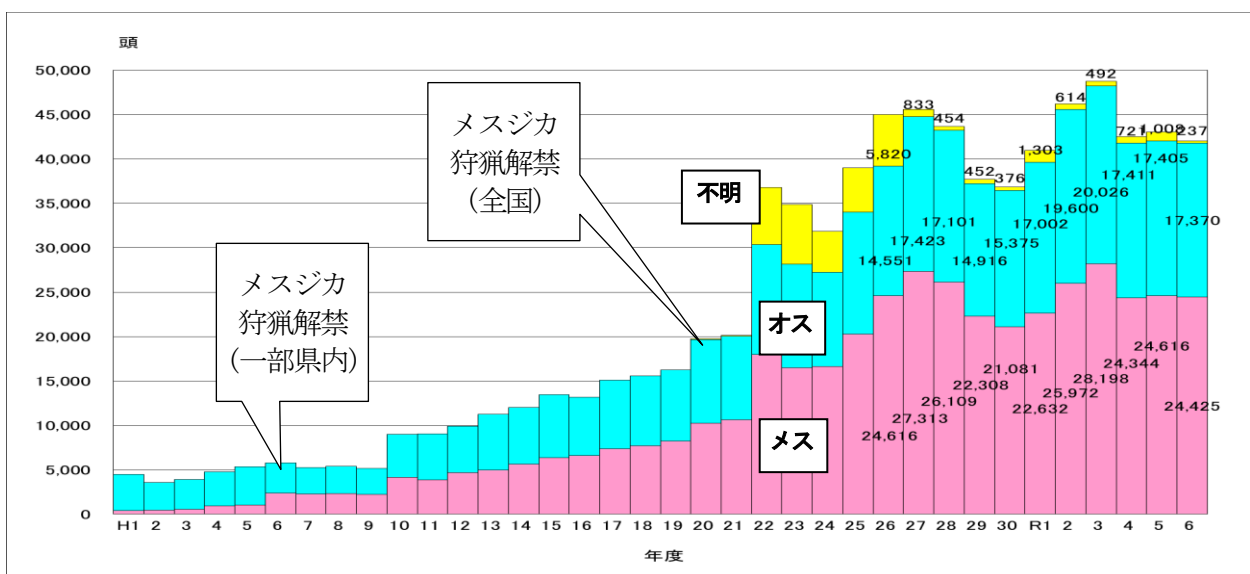


図-2 捕獲数の推移 (雌雄別)

(4) 免許種別狩猟者数の推移

本県の狩猟免許所持者数は、ピーク時の昭和59年には1万人近くであったが、年々減少して平成24年度には約5,500人まで落ち込んだ。その後、被害農家自らが狩猟免許を取得するなど、地域ぐるみの捕獲体制づくりが進んだことや、環境省による認定鳥獣捕獲等事業者制度の創設などにより、わな免許を中心に増加傾向に転じ、令和6年度は8,445人となった（図-3）。

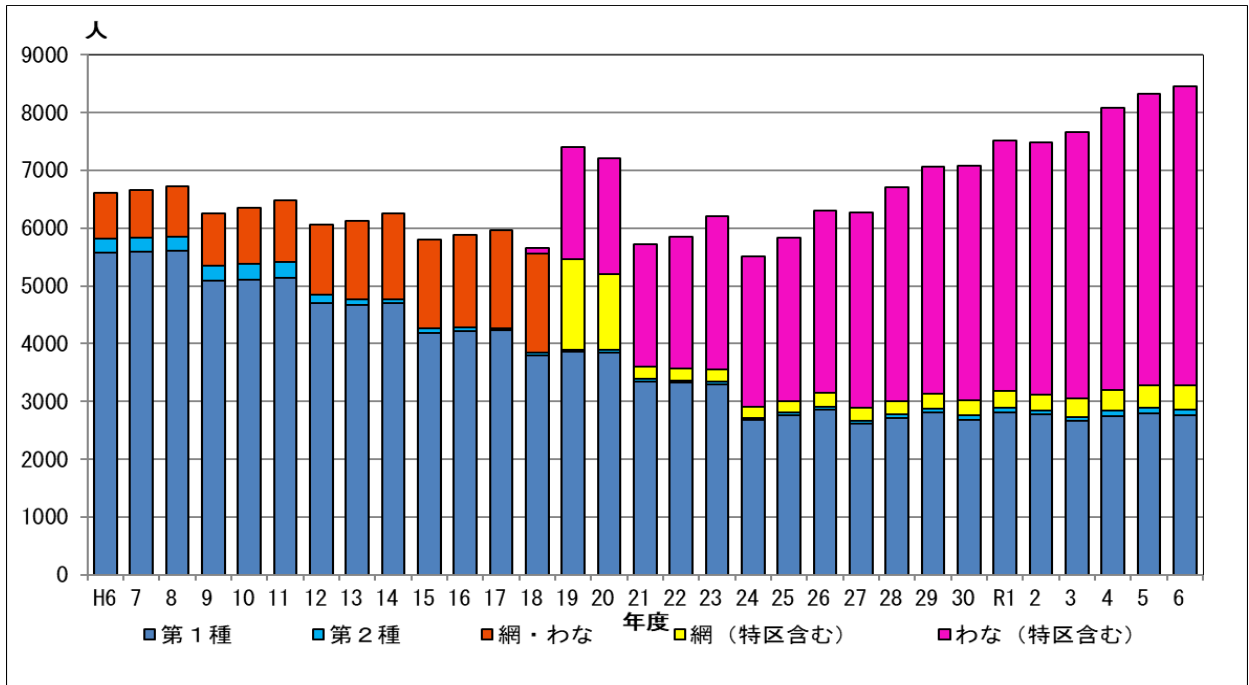


図-3 免許種別狩猟者の推移

(5) 年代別狩猟者割合の推移

近年は50代以下の増加により、高齢化率は低下傾向にある。しかし、60代以上が全体の44%を占めており、依然として顕著である。（図-4）。

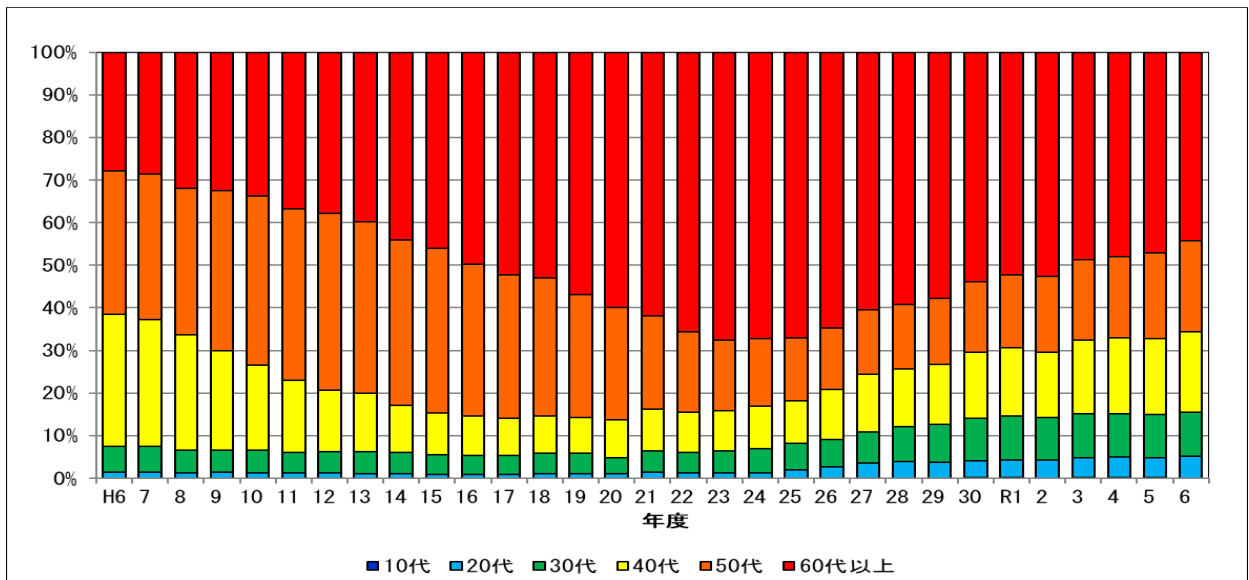


図-4 年代別狩猟者割合の推移

(6) 密度指標の空間分布

狩猟期に実施する狩猟者へのアンケート調査（出猟カレンダー）を元に算出する SPUE(11-12月)は、広域的な密度分布の把握に適しており、シカ管理計画の目標の指標値に位置付けている。

令和4年度から令和6年度のシカの分布を見ると、但馬北西部の海岸に近いところで密度が高い傾向にある一方で但馬南部や播磨北中部および丹波地域には報告データのない場所が散見される。

これはシカの生息密度低下にともない狩猟者の入り込みが減少したことがその一因であると考えられる（図-5）。

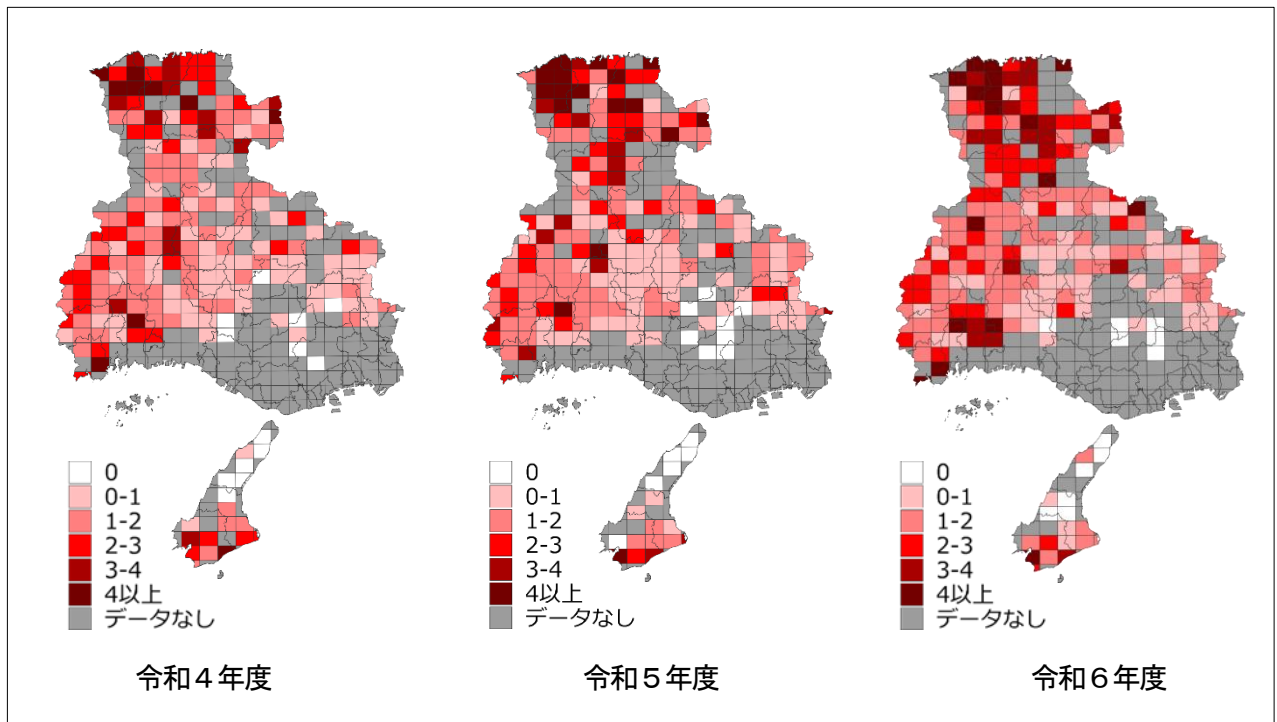


図-5 シカ SPUE(11-12月)の推移

(7) 密度指標の変化

シカの生息数推定にあたり、密度指標として狩猟期の SPUE(11-12月)、はこわな CPUE(狩猟期)、くくりわな CPUE(狩猟期)と糞塊密度を用いて毎年推計している。

これらの指標について、SPUEは積雪の有無による見つけやすさの変化や、糞塊密度は気温による糞の分解速度の変化（気温が高い場合は実際の生息密度に対して過小に、低い場合は過大になる）など、環境要因や狩猟期の報奨金制度創設といった制度の変化に伴う偏りが生じる可能性があるため、複数の指標を用いることで、できるだけ誤差が少なくなるように考慮している。

以下に、各指標についてユニットごとの平均値の推移（図-6, 7, 8, 9）を示すが、前述のとおり指標ごとに気温や積雪量その他の気象条件等様々な要因による誤差が生じるため、平均値の動向は指標間で必ずしも一致しない。

近年、シカ捕獲数に占める有害捕獲の割合が高まっているが、現行では有害捕獲に関する密度指標のデータが収集できていない。今後は推定生息数の誤差を小さくしていくために各市町が実施している有害捕獲の密度指標データの収集を検討する必要がある。

※ SPUE(11-12月)：1人の狩猟者が1回の出猟で目撃したシカの頭数。積雪の影響を受けやすい指標のため、11-12月の値を集計。

※ はこわな CPUE(狩猟期)・くくりわな CPUE(狩猟期)：100ワナ日あたり捕獲数。努力量100ワナ日以上の場合のみ計算。

※ 糞塊密度：1kmあたりに落ちていたシカの糞塊数

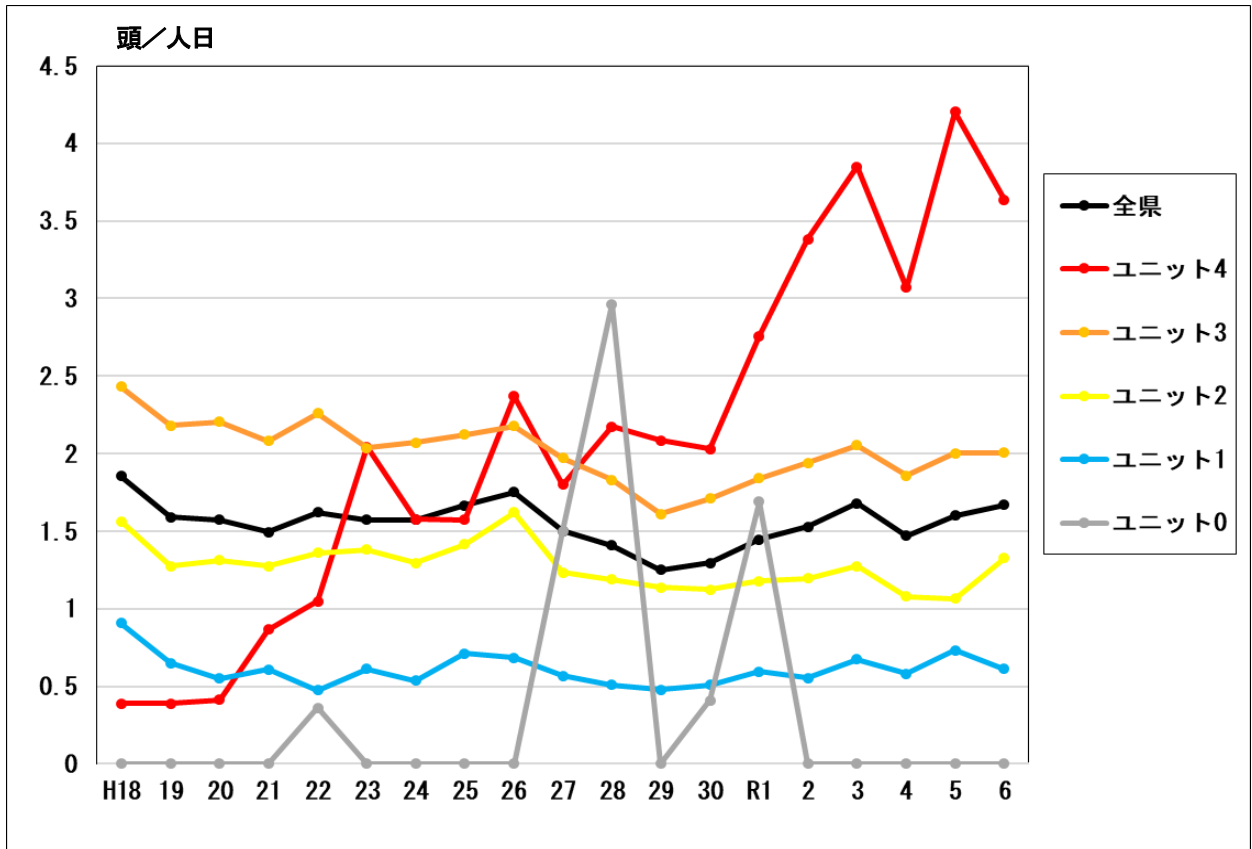


図-6 SPUE(11-12月)の年次推移

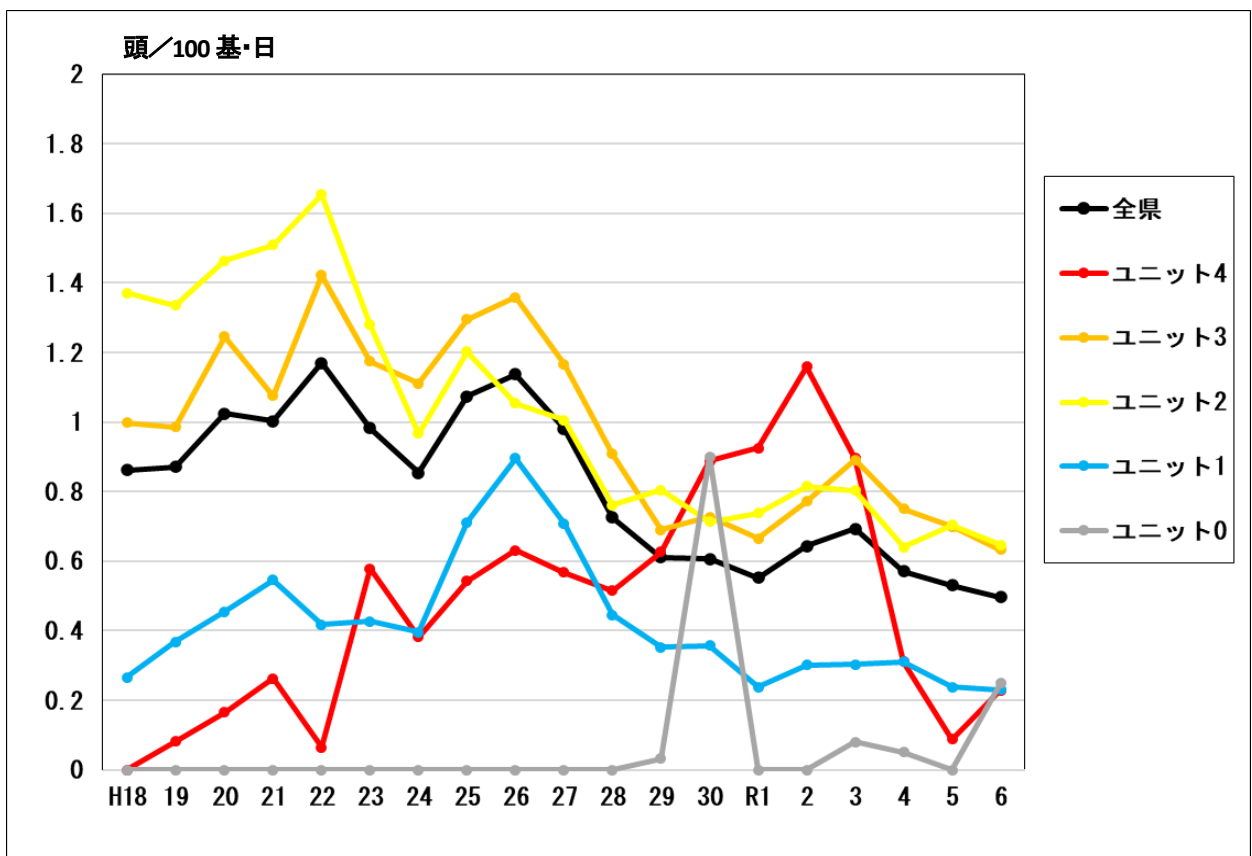


図-7 はこわな CPUE(狩猟期)の年次推移

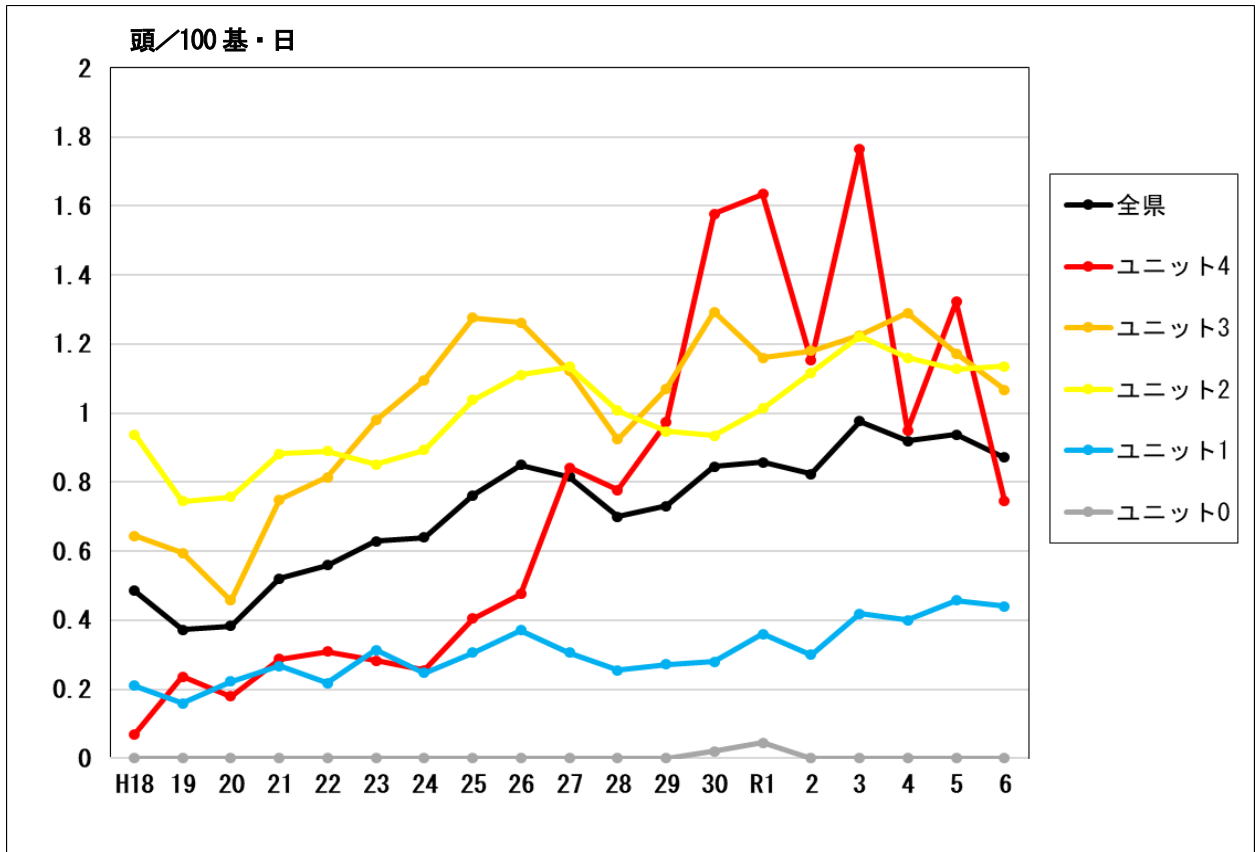


図-8 くくりわな CPUE (狩猟期) の年次推移

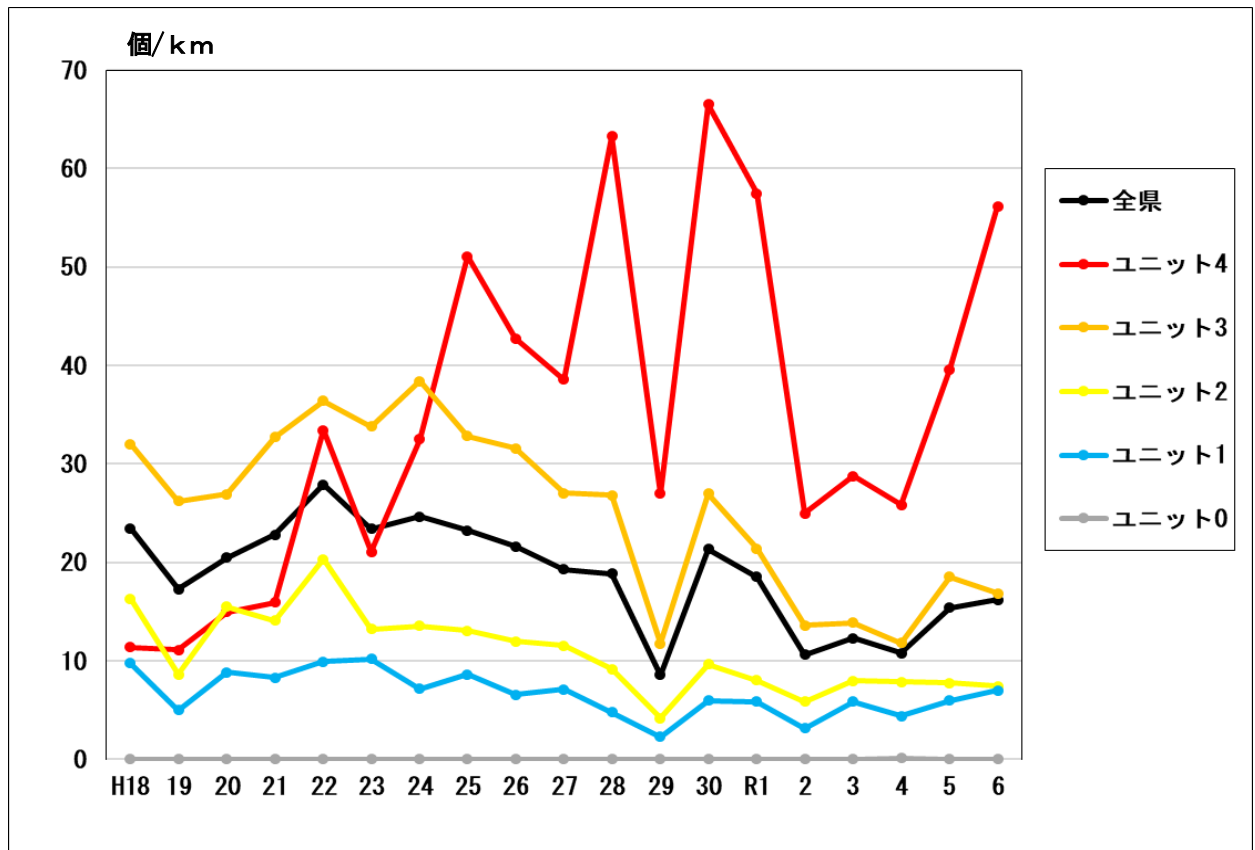


図-9 糞塊密度の年次推移

<捕獲目標算出の方法>

以下の表は、令和6年度末の市町別推定生息数に、市町別推定増加率と単年目標減少率を乗じて、令和8年度の市町別捕獲目標を算定したものである(表-3)。

表-3 令和8年度市町別捕獲目標算出

[単位: 頭、%]

ユニット	市町	R6 SPUE (11-12月) 目標	R6 SPUE (11-12月) 実績	単年 目標 減少率	R6推定 増加率	R6生息 数予測 (捕獲前)	R6 捕獲数	R6 生息数 (捕獲後)	R6 捕獲率 (%)	R7生息 数予測 (捕獲前)	R7生息 数予測 (捕獲後)	R8生息 数予測 (捕獲前)	R8生息 数予測 (捕獲後)	R8 捕獲 見込数	R8 捕獲目標 (暫定)	R6 捕獲実績	R8 捕獲目標		R8 捕獲目標 (確定)
																	R6 SPUE(11-12月)目標 と実績を比較 ※1	り	
				a	b	c	d	e=c-d	f=d/c	g=e×b	h=e×a	i=h×b	j=h×a	k=i-j	ア=k	イ=d			
4	香美町	2.26	3.78	0.92	1.29	12,353	4,395	7,958	36	10,266	7,321	9,444	6,735	2,709	2,709	4,395	4,395	—	4,390
	新温泉町	2.87	3.29	0.92	1.26	7,370	3,526	3,844	48	4,843	3,536	4,455	3,253	1,202	1,202	3,526	3,526	—	3,520
	小計	2.41	3.64			19,723	7,921	11,802	40	15,109	10,857	13,899	9,988	3,911	3,911	7,921	7,921	0	7,910
3	川西市	1.47	1.05	0.96	1.57	608	215	393	35	617	377	592	362	230	230	215	—	215	210
	たつの市	1.99	2.43	0.96	1.35	5,299	1,402	3,897	26	5,261	3,741	5,050	3,591	1,459	1,459	1,402	1,459	—	1,450
	赤穂市	1.72	1.98	0.96	1.33	3,300	960	2,340	29	3,112	2,246	2,987	2,156	831	831	960	960	—	960
	宍粟市	1.56	1.74	0.96	1.17	25,695	2,840	22,855	11	26,740	21,941	25,671	21,063	4,608	4,608	2,840	4,608	—	4,600
	太子町	3.38	3.00	0.96	1.47	310	111	199	36	293	191	281	183	98	98	111	—	98	98
	上郡町	1.40	1.38	0.96	1.23	3,645	751	2,894	21	3,560	2,778	3,417	2,667	750	750	751	—	750	750
	佐用町	1.68	1.96	0.96	1.35	11,336	2,924	8,412	26	11,356	8,076	10,903	7,753	3,150	3,150	2,924	3,150	—	3,150
	豊岡市	1.38	2.63	0.96	1.32	23,424	5,852	17,572	25	23,195	16,869	22,267	16,194	6,073	6,073	5,852	6,073	—	6,070
	養父市	1.86	2.34	0.96	1.26	15,650	3,092	12,558	20	15,823	12,056	15,191	11,574	3,617	3,617	3,092	3,617	—	3,610
	洲本市	1.64	1.06	0.96	1.37	4,448	869	3,579	20	4,903	3,436	4,707	3,299	1,408	1,408	869	—	869	860
	南あわじ市	2.06	2.79	0.96	1.37	7,723	1,829	5,894	24	8,075	5,658	7,751	5,432	2,319	2,319	1,829	2,319	—	2,310
小計	1.64	2.00			101,438	20,845	80,593	21	102,935	77,369	98,817	74,274	24,543	24,543	20,845	22,186	1,932	24,068	
2	多可町	1.11	0.92	0.97	1.16	5,831	830	5,001	14	5,801	4,851	5,627	4,705	922	922	830	—	830	830
	姫路市	1.03	1.44	0.97	1.31	9,182	3,020	6,162	33	8,072	5,977	7,830	5,798	2,032	2,032	3,020	3,020	—	3,020
	神河町	1.16	0.84	0.97	1.11	6,467	475	5,992	7	6,651	5,812	6,451	5,638	813	813	475	—	475	470
	市川町	1.04	0.83	0.97	1.20	2,293	337	1,956	15	2,347	1,897	2,276	1,840	436	436	337	—	337	330
	福崎町	1.07	0.87	0.97	1.32	675	232	443	34	585	430	568	417	151	151	232	—	151	150
	相生市	1.05	2.30	0.97	1.32	2,242	387	1,855	17	2,449	1,799	2,375	1,745	630	630	387	630	—	630
	朝来市	1.24	1.42	0.97	1.15	13,872	1,432	12,440	10	14,306	12,067	13,877	11,705	2,172	2,172	1,432	2,172	—	2,170
	丹波市	0.90	1.61	0.97	1.18	12,528	2,422	10,106	19	11,925	9,803	11,568	9,509	2,059	2,059	2,422	2,422	—	2,420
	小計	1.07	1.33			53,090	9,135	43,955	17	52,136	42,636	50,572	41,357	9,215	9,215	9,135	8,244	1,793	10,020
1	神戸市	0.05	0.05	1.00	1.20	343	22	321	6	385	321	385	321	64	64	22	—	22	22
	西宮市	0.00	1.57	1.00	1.14	63	26	37	41	42	37	42	37	5	5	26	26	—	26
	宝塚市	0.28	0.41	1.00	1.35	509	188	321	37	433	321	433	321	112	112	188	188	—	180
	三田市	0.52	0.68	1.00	1.33	2,784	629	2,155	23	2,866	2,155	2,866	2,155	711	711	629	711	—	710
	猪名川町	0.89	0.89	1.00	1.42	2,007	840	1,167	42	1,657	1,167	1,657	1,167	490	490	840	840	—	840
	加古川市	0.08	0.06	1.00	1.15	43	3	40	7	46	40	46	40	6	6	3	—	3	3
	高砂市	0.00	0.00	1.00	1.24	6	0	6	0	7	6	7	6	1	1	0	1	—	1
	西脇市	0.89	0.90	1.00	1.26	2,901	495	2,406	17	3,032	2,406	3,032	2,406	626	626	495	626	—	620
	三木市	0.11	0.02	1.00	1.21	107	3	104	3	126	104	126	104	22	22	3	—	3	3
	小野市	0.01	0.26	1.00	1.43	52	3	49	6	70	49	70	49	21	21	3	21	—	21
	加西市	0.72	1.26	1.00	1.44	1,240	327	913	26	1,315	913	1,315	913	402	402	327	402	—	400
	加東市	0.11	0.23	1.00	1.14	632	16	616	3	702	616	702	616	86	86	16	86	—	86
	丹波篠山市	0.90	0.86	1.00	1.30	8,349	1,579	6,770	19	8,801	6,770	8,801	6,770	2,031	2,031	1,579	2,031	—	2,030
淡路市	0.05	0.55	1.00	1.29	92	0	92	0	119	92	119	92	27	27	0	27	—	27	
小計	0.55	0.75			19,128	4,131	14,997	22	19,601	14,997	19,601	14,997	4,604	4,604	4,131	4,959	28	4,969	
0	尼崎市	0.00	0.00	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—	0
	芦屋市	0.00	0.00	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—	0
	伊丹市	0.00	0.00	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—	0
	明石市	0.00	0.00	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—	0
	稲美町	0.00	0.00	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—	0
	播磨町	0.00	0.00	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—	0
小計	0.00	0.00	—	—	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
全県	1.14	1.67			193,379	42,032	151,347	22	189,781	145,859	182,889	140,616	42,273	42,273	42,032	43,310	3,753	46,967	

※1 R6 SPUE(11-12月)実績が、R6 SPUE(11-12月)を達成していない市町は、「R8捕獲目標(暫定)ア」と「R6捕獲実績イ」の多い方を「R8捕獲目標リ」とする。

※2 R6捕獲目標(確定)が100頭以上の場合は、10頭未満を切り捨てている。

注) ユニット0の市町については、捕獲目標の算定は行わないが、シカ分布拡大防止のための捕獲に努める(ユニット0: シカ未確認またはほとんど生息が見られない市町)。

<参考試算>

以下のグラフは、令和2年度の数値を基準とした、令和8年度末までのユニット別 SPUE(11-12月)の目標値を表したものである(図-10)

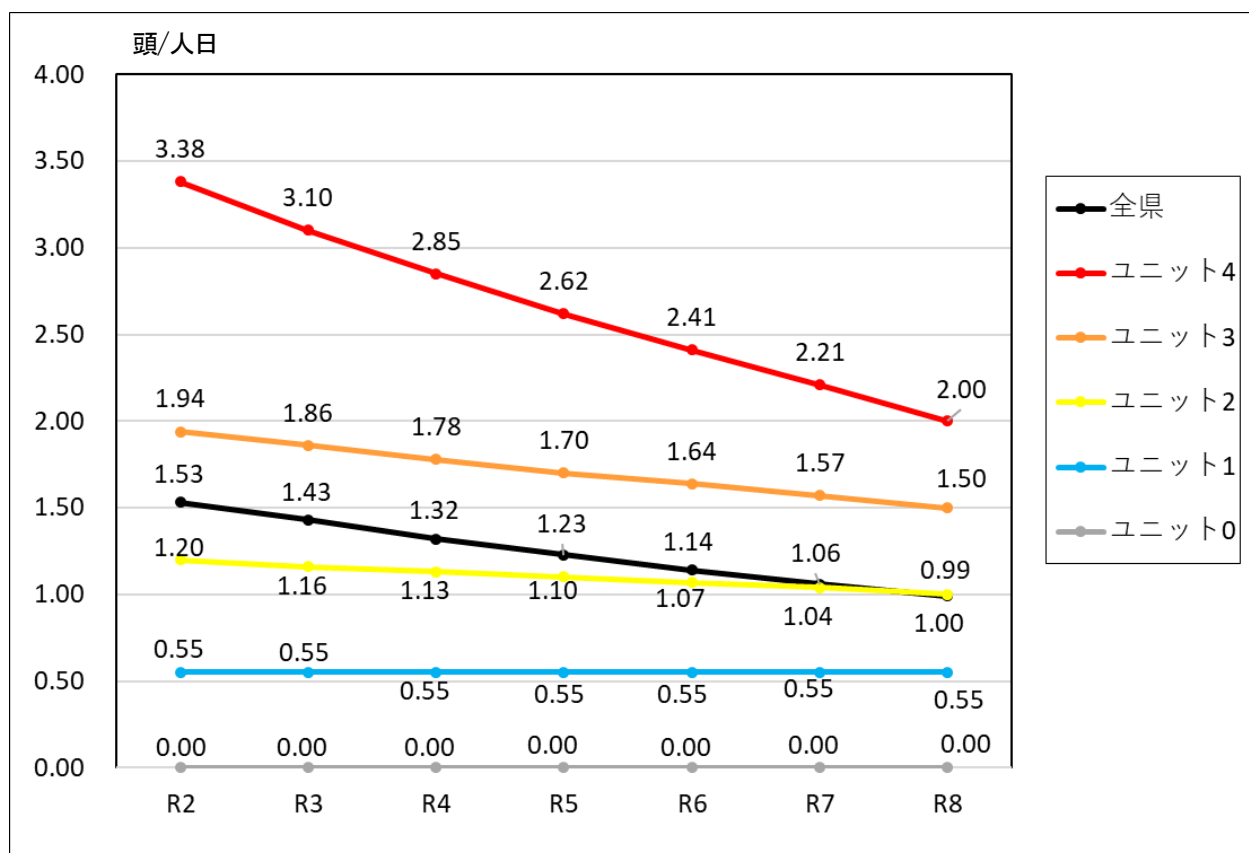


図-10 計画期間内のユニット別 SPUE(11-12月)の目標数値

(8) 妊娠率の推移

亜成獣の妊娠率は高密度化が進んだ平成 22 年度前後に 15～20%程度まで低下したが、令和 3 年度の調査では 52%まで上昇しており、回復傾向にあると考えられた。成獣の妊娠率は変動が少なく、80%以上の高い値が継続している。(図-11, 12)

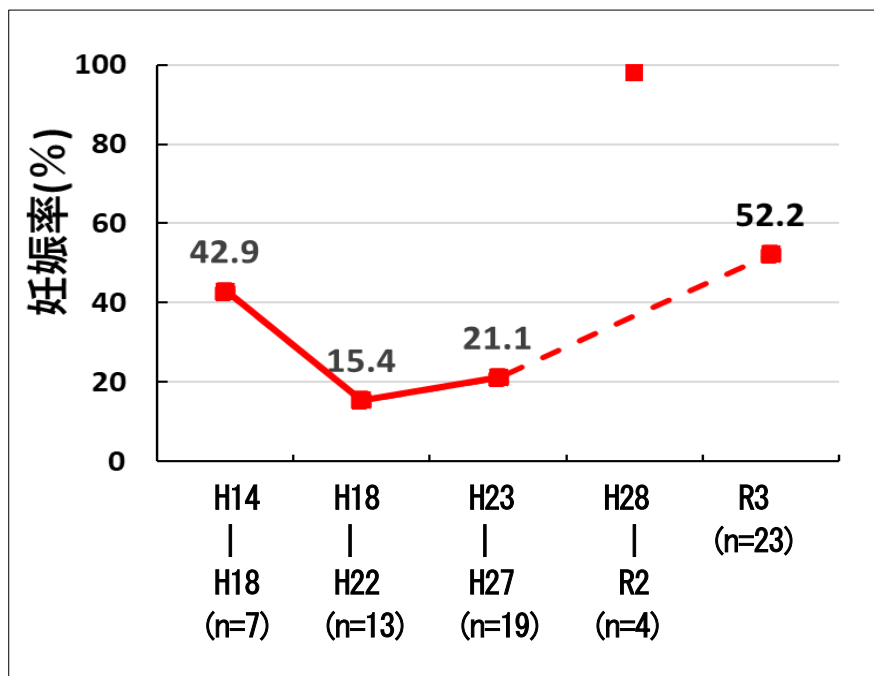


図-11 亜成獣の妊娠率 (n=66)

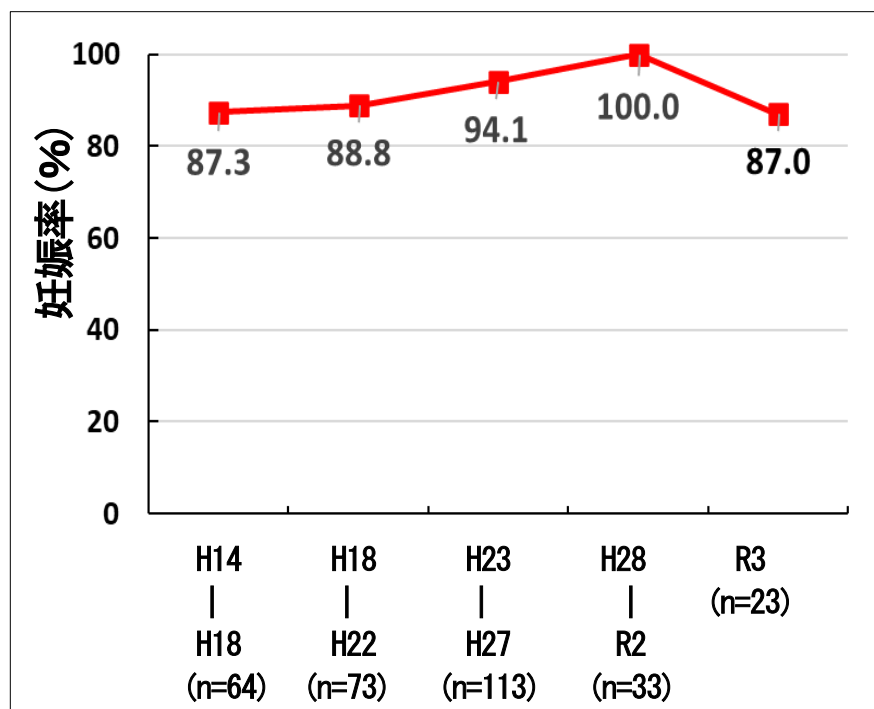


図-12 成獣の妊娠率 (n=352)

(9) シカによる農林業被害の推移

シカによる農林業被害は平成 22 年度以降減少傾向を示しており、令和 3 年度はシカの分布拡大や、大雪で森林内の獣害防護柵が壊れたこと等による林業被害の増加により、約 2 億円の被害金額となり増加に転じ、その後は再び減少傾向となっている（図-13）

ただし、農業被害のみに着目すると下げ止まりしている状態である。近年被害が増加している市町があり、個別に現状を把握し、市町や関係者と連携し捕獲と防除を組み合わせた対策を検討する必要がある（表-4）。

林業被害においては年変動が大きく、植栽事業との関連を調査するなど、個別の被害対策を検討する必要がある（表-5）。

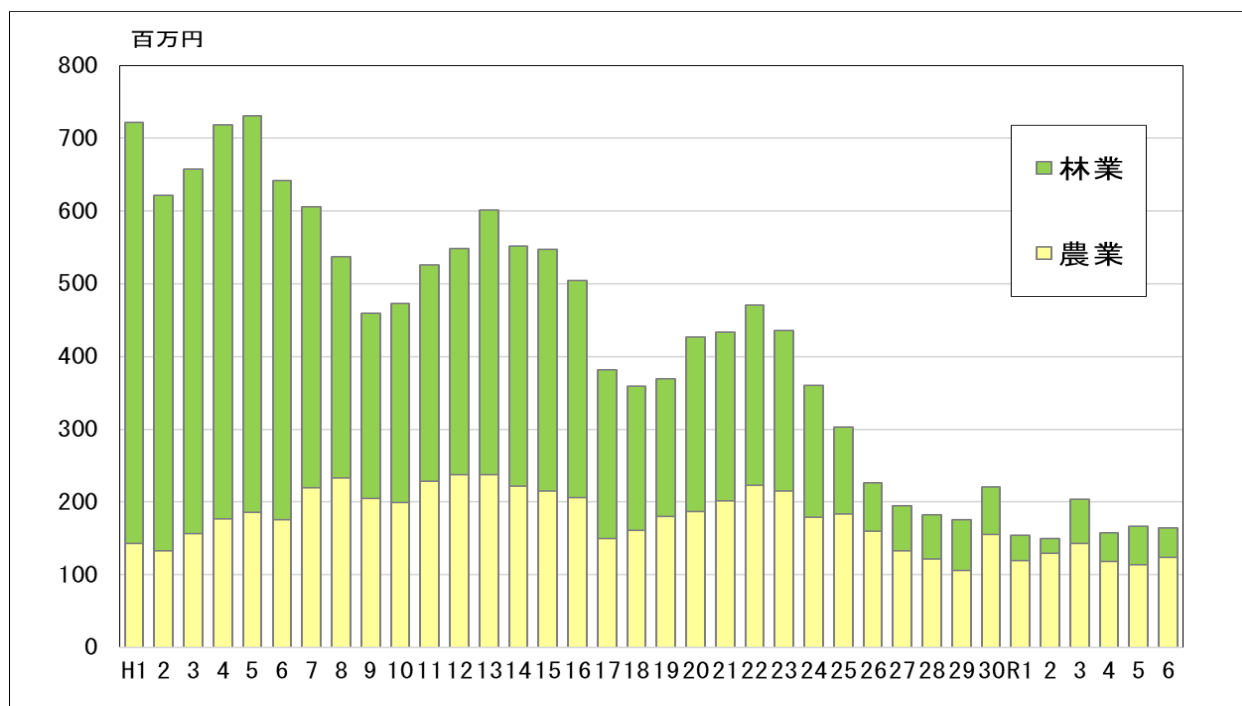


図-13 農林業被害の推移

表-4 ニホンジカによる農業被害の推移（令和2年度～令和6年度）

（単位 被害面積：ha 被害金額：千円）

農林名	市町村名	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		R6/R5 (被害金額)
		被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	
神戸	神戸市											—
阪神	尼崎市											—
	西宮市			0.05	62	0.01	11			0.42	808	—
	芦屋市											—
	伊丹市											—
	宝塚市	0.94	1,457	0.25	331	0.61	582	0.58	1,042	0.96	1,445	139%
	川西市	1.00	5,277	2.00	12,725	1.00	5,941	0.80	3,013	0.40	1,810	60%
	三田市	2.90	3,890	2.84	4,185	3.95	4,510	6.09	6,047	5.14	5,068	84%
	猪名川町	7.95	6,404	6.57	8,202	3.85	4,876	3.90	4,005	1.32	1,867	47%
	計	12.79	17,028	11.72	25,505	9.42	15,920	11.37	14,107	8.24	10,998	78%
加古川	明石市											—
	加古川市											—
	高砂市											—
	稲美町											—
	播磨町											—
	計											—
加東	西脇市	2.71	2,948	1.96	1,957	1.86	1,992	1.63	1,686	3.17	2,995	178%
	三木市			0.06	75							—
	小野市											—
	加西市	2.40	751	2.14	676	2.90	1,107	3.20	1,703	3.04	1,616	95%
	加東市	0.01	12							0.03	35	—
	多可町	3.01	4,567	0.17	208	0.94	1,112	0.75	858	0.26	309	36%
	計	8.13	8,278	4.33	2,916	5.70	4,211	5.58	4,247	6.50	4,955	117%
姫路	姫路市	5.86	7,688	19.23	22,801	20.15	22,214	21.48	21,990	9.56	7,530	34%
	神河町	1.32	245	1.14	283	1.34	279	1.21	379	0.53	248	65%
	市川町	0.31	28	0.49	52	0.75	316	2.87	2,457	0.53	630	26%
	福崎町	0.02	2	0.12	153	0.13	153	0.21	231	2.30	1,475	639%
	計	7.51	7,963	20.98	23,289	22.37	22,962	25.77	25,057	12.92	9,883	39%
光都	相生市	1.36	325	2.77	1,121	1.37	639	4.81	1,169	17.74	4,409	377%
	たつの市	3.07	3,177	6.21	3,736	6.21	1,992	11.54	2,038	14.03	2,074	102%
	赤穂市	10.53	1,242	12.67	1,519	12.15	2,082	2.35	760	14.32	2,994	394%
	宍粟市	4.30	5,861	3.06	3,242	0.18	206	0.04	44	0.50	595	1352%
	太子町	1.05	1,335	0.07	87							—
	上郡町	14.65	2,543	6.59	741	3.28	416	6.15	1,243	6.89	1,895	152%
	佐用町			3.10	2,739	5.50	4,281	7.24	2,854	7.63	4,488	157%
計	34.96	14,483	34.47	13,185	28.69	9,616	32.13	8,108	61.11	16,455	203%	
豊岡	豊岡市	24.55	26,028	20.53	22,895	20.12	19,826	19.58	18,684	16.31	17,150	92%
	香美町	10.47	17,947	6.35	17,871	4.63	7,099	4.63	11,820	3.36	5,071	43%
	新温泉町	2.96	3,684	4.69	6,400	3.78	4,308	2.97	2,791	4.82	4,832	173%
	計	37.98	47,659	31.57	47,166	28.53	31,233	27.18	33,295	24.49	27,053	81%
朝来	養父市	4.03	7,172	3.19	4,732	3.34	5,352	1.69	3,773	1.67	4,698	125%
	朝来市	1.05	1,481	0.69	1,583	0.65	714	2.03	2,694	1.78	2,602	97%
	計	5.08	8,653	3.88	6,315	3.99	6,066	3.72	6,467	3.45	7,300	113%
丹波	丹波篠山市	4.49	2,608	4.15	4,368	4.19	4,810	4.01	4,546	3.96	5,063	111%
	丹波市	11.13	13,810	12.06	13,919	11.61	12,304	9.12	10,409	13.18	14,424	139%
	計	15.62	16,418	16.21	18,287	15.80	17,114	13.13	14,955	17.14	19,487	130%
洲本	洲本市	0.84	1,671	1.28	2,267	2.19	3,722	1.66	3,167	10.19	20,596	650%
	南あわじ市	1.80	7,110	1.40	4,522	2.17	7,247	1.27	4,610	1.79	7,090	154%
	淡路市											—
	計	2.64	8,781	2.68	6,789	4.36	10,969	2.93	7,777	11.98	27,686	356%
合計		124.70	129,263	125.84	143,452	118.86	118,091	121.81	114,013	145.83	123,817	109%

表-5 ニホンジカによる林業被害の推移（令和2年度～令和6年度）

（単位 被害面積：ha 被害金額：千円）

農林名	市町村名	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		R6/R5 (被害金額)
		被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	
神戸	神戸市											—
阪神	尼崎市											—
	西宮市											—
	芦屋市											—
	伊丹市											—
	宝塚市											—
	川西市											—
	三田市											—
	猪名川町											—
	計											—
加古川	明石市											—
	加古川市											—
	高砂市											—
	稲美町											—
	播磨町											—
	計											—
加東	西脇市	0.10	123									—
	三木市											—
	小野市											—
	加西市											—
	加東市											—
	多可町			0.05	60							—
	計	0.10	123	0.05	60							—
姫路	姫路市											—
	神河町					0.74	1,058	0.93	939			—
	市川町											—
	福崎町											—
	計					0.74	1,058	0.93	939			—
光都	相生市											—
	たつの市											—
	赤穂市											—
	宍粟市											—
	太子町											—
	上郡町											—
	佐用町											—
	計											—
豊岡	豊岡市	4.23	5,099			1.47	3,210	2.50	2,975	8.00	11,534	388%
	香美町	1.20	2,914	0.85	1,038	0.60	786	4.39	9,353	6.00	8,771	94%
	新温泉町	2.80	3,582	25.00	44,900	11.60	24,944	16.28	36,269	4.75	9,619	27%
	計	8.23	11,595	25.85	45,938	13.67	28,940	23.17	48,597	18.75	29,924	62%
朝来	養父市	2.80	3,871	9.50	11,292	3.71	4,572	2.05	3,347	5.00	11,150	333%
	朝来市	2.72	4,779	0.20	332	2.49	1,932					—
	計	5.52	8,650	9.70	11,624	6.20	6,504	2.05	3,347	5.00	11,150	333%
丹波	丹波篠山市											—
	丹波市			3.46	2,732	2.81	2,574	0.20	134			—
	計			3.46	2,732	2.81	2,574	0.20	134			—
洲本	洲本市											—
	南あわじ市											—
	淡路市											—
	計											—
合計		13.85	20,368	39.06	60,354	23.42	39,076	26.35	53,017	23.75	41,074	77%

(10) スマート獣害対策モデル育成事業の取組

捕獲を中心とした集落の被害対策として平成 25 年度から実施してきた「ストップ・ザ・獣害事業」に代わり、令和 4 年度からは防除にも重点を置き、住民主体で対策を行う「被害集落自立サポート事業（対策の実践支援）」を開始し、集落の防除対策や捕獲班の活動を支援し、シカ、イノシシ、アライグマ等の被害軽減を図った。令和 7 年度からは同事業に代わり、ITC 機器を活用した省力的な獣害対策を行う集落を育成する「スマート獣害対策モデル育成事業」を実施している（図-14）。

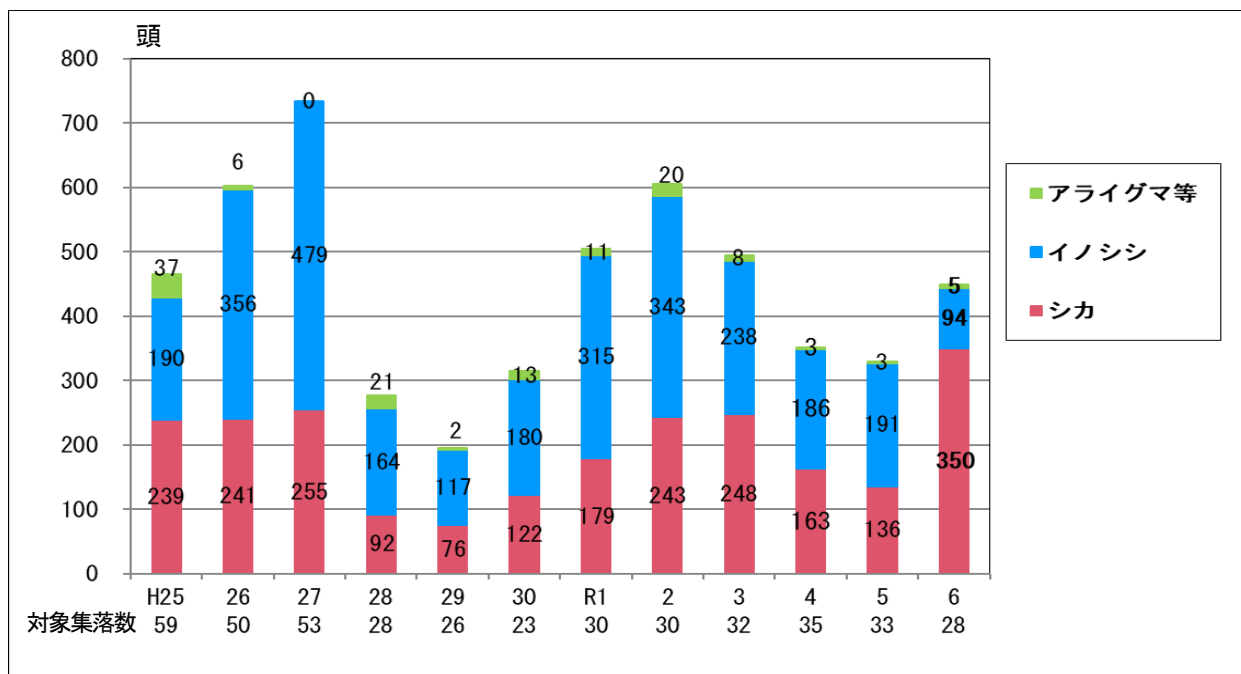


図-14 スマート獣害対策モデル育成事業 捕獲頭数の推移
(H25～R3 はストップ・ザ・獣害事業、R4～R6 は被害集落自立サポート事業の実績)

(11) 指定管理鳥獣捕獲等事業の取組

平成 26 年の鳥獣保護法(当時)改正により創設された制度で、集中的かつ広域的に管理を図る必要があるとして環境大臣が定めた鳥獣(指定管理鳥獣：現行ではシカ、イノシシ)を、都道府県が捕獲する「指定管理鳥獣捕獲等事業」について、兵庫県では平成 28 年度から継続して実施しており、令和 6 年度は 594 頭のシカを捕獲した（図-15）。

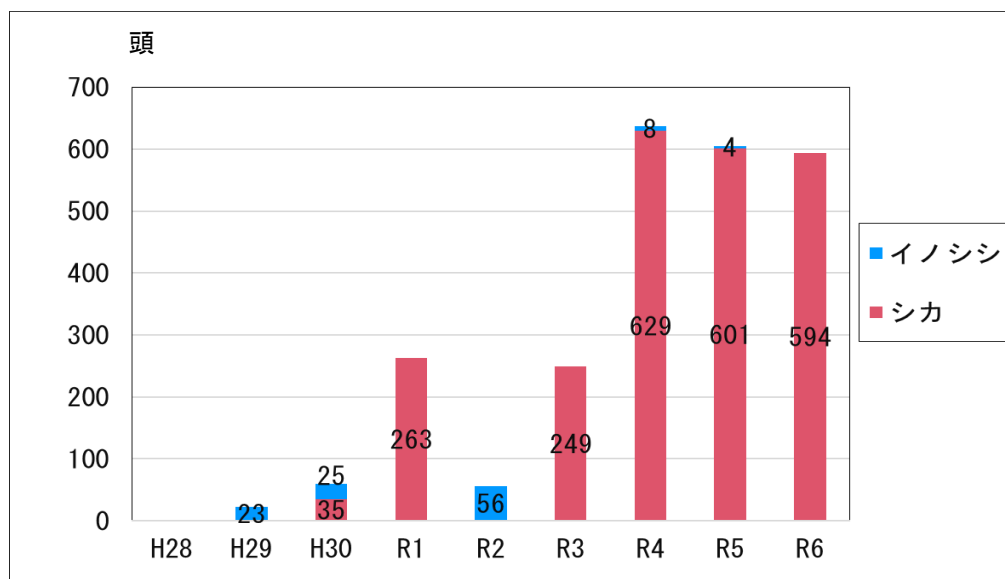


図-15 指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲頭数の推移

(12) 下層植生被害の推定分布

4年ごとに森林の下層植生衰退度を調査し、その結果を公表している。最新データである令和4年度(図-16)と、その前回のデータとなる平成30年度の衰退度の変化を見ると、SPUEが高く高密度でシカが生息していると考えられる北但馬地域において、衰退度がさらに進行し被害が深刻化した森林が見受けられるが、3ランク以上悪化する急激な衰退は見られなくなった(図-17)。

令和8年度までに県全体のSPUE(11-12月)が1.0を下回った場合の将来予測では、下層植生の衰退の進行が止まり(図-18)、さらに令和12年度までにSPUE(11-12月)が0.5を下回った場合には、下層植生が回復するエリアの拡大(図-19)が見込まれる。

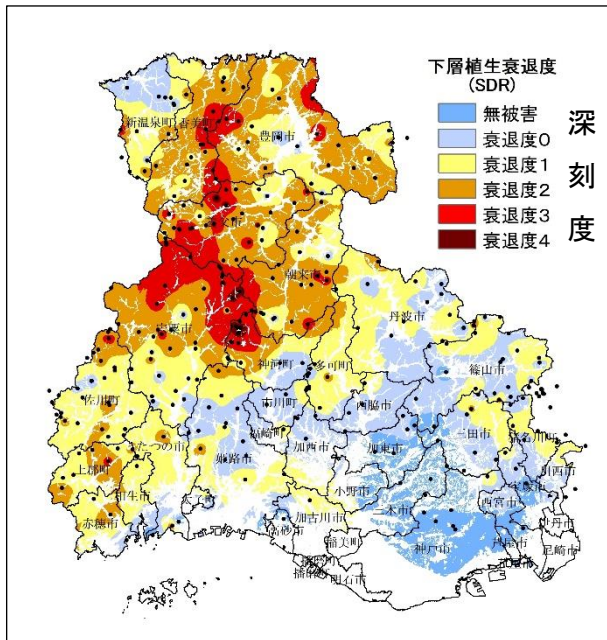


図-16 下層植生衰退の状況(R4年度)

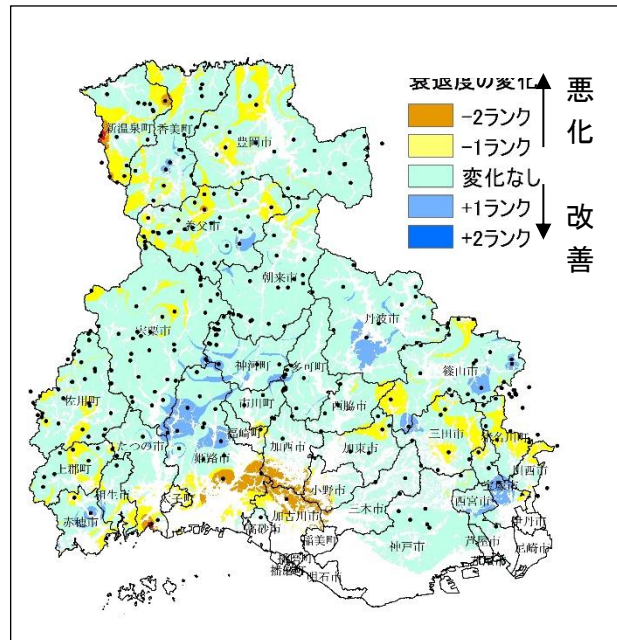


図-17 衰退の変化(H30→R4年度)

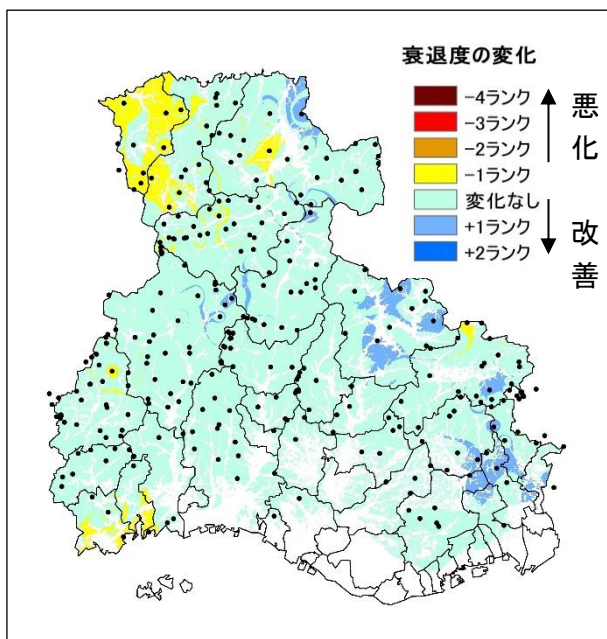


図-18 下層植生衰退の将来予測
(令和8年度でSPUE(11-12月)が1.0を下回った場合)

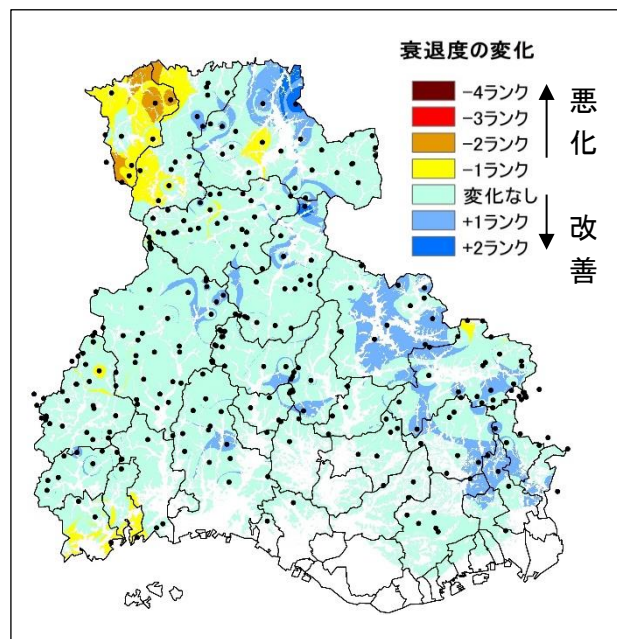


図-19 下層植生衰退の将来予測
(令和12年度でSPUE(11-12月)が0.5を下回った場合)

淡路地域では、洲本市及び南あわじ市南部の諭鶴羽山地において、森林植生衰退が顕著であり、平成24年度と27年度ではほぼ変化が無い（図-20, 21）

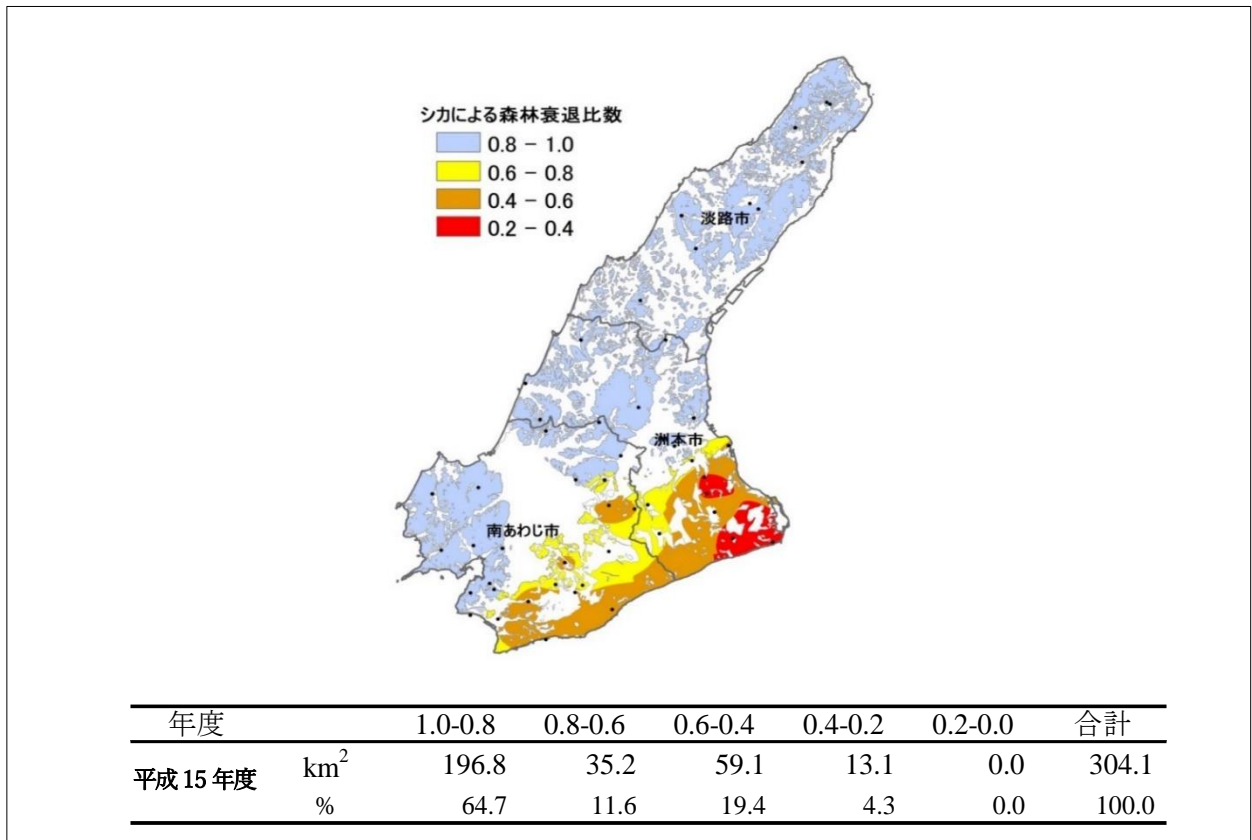


図-20 淡路地域における広葉樹林の森林衰退比数別の推定分布面積

※比数とはシカの影響のない林分の平均的な立木密度（1.0）に対する比率

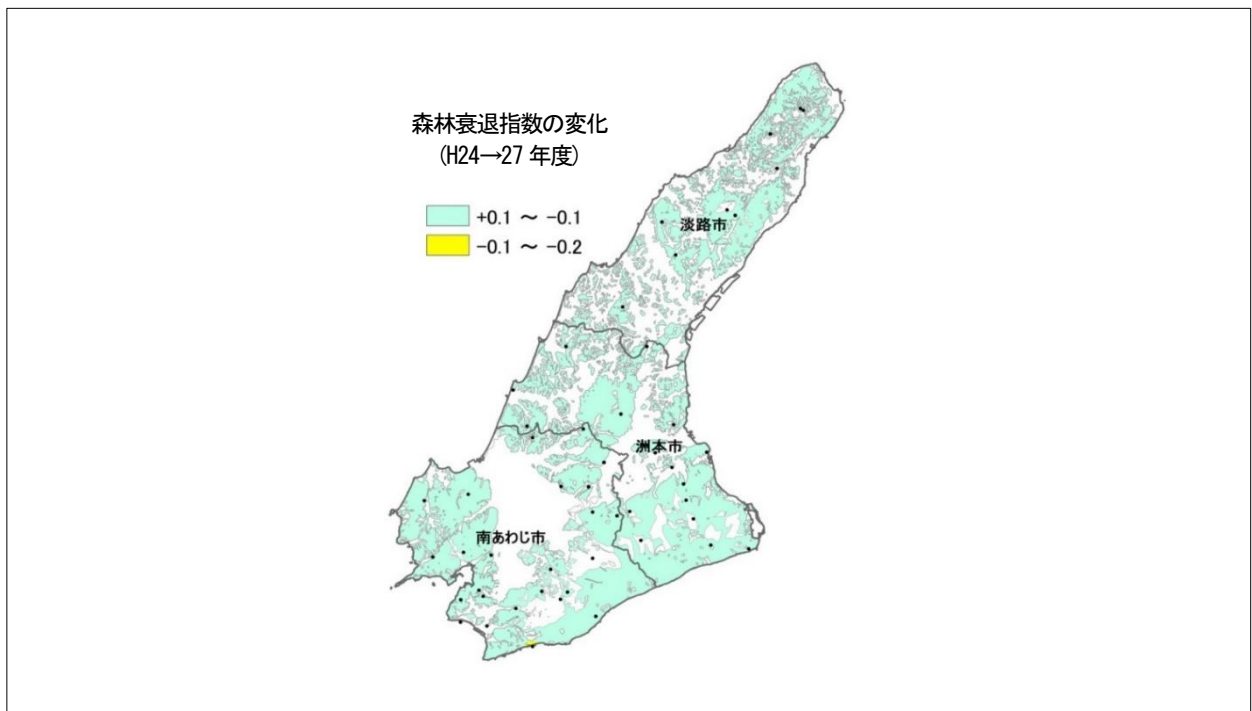


図-21 森林衰退指数の変化（平成24年度 → 平成27年度）

(13) 推定生息数の状況

最新の推定による兵庫県の子息状況（令和6年度）は下記のとおりである。

推定生息数（95%信用区間）	令和6年度 捕獲前 194,709頭（177,952～211,434頭） 令和6年度 捕獲後 153,136頭（136,379～169,861頭）
推定増加率（95%信用区間）	令和6年度 25.5%（21.8～29.8%）

※ 平成14年度から令和6年度までの捕獲頭数、糞塊密度、SPUE(11-12月)およびCPUEのデータを統計処理（MCMC法によるベイズ推定）することにより推定。

※ 推定増加率は、捕獲を加味しない計算上の値

ユニットごとの推定生息数の動態を以下に示した（図-22～25）。

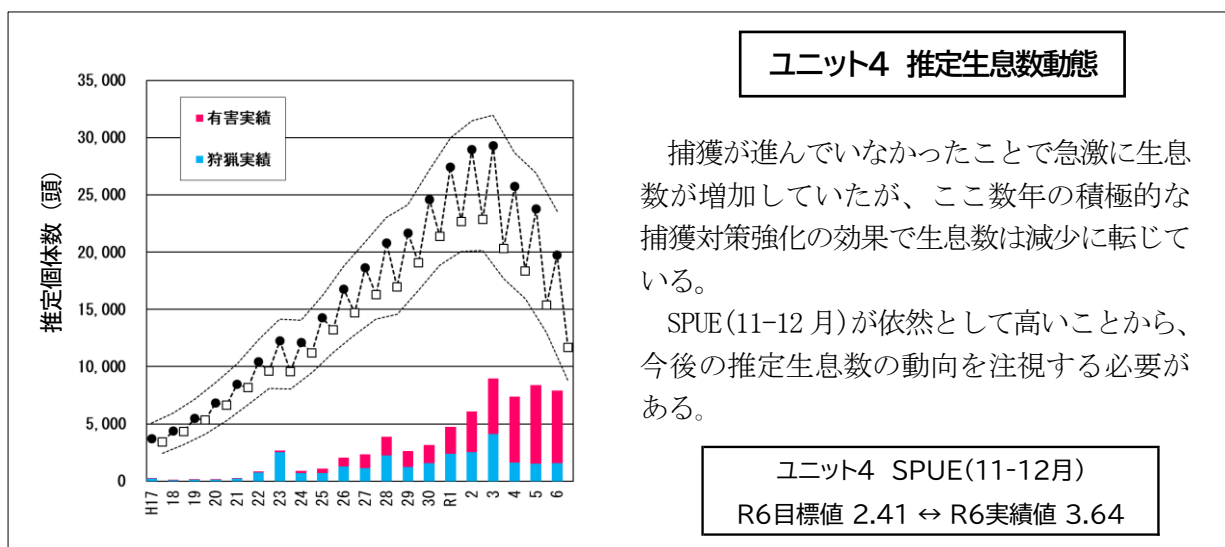


図-22 ユニット4の推定生息数動態

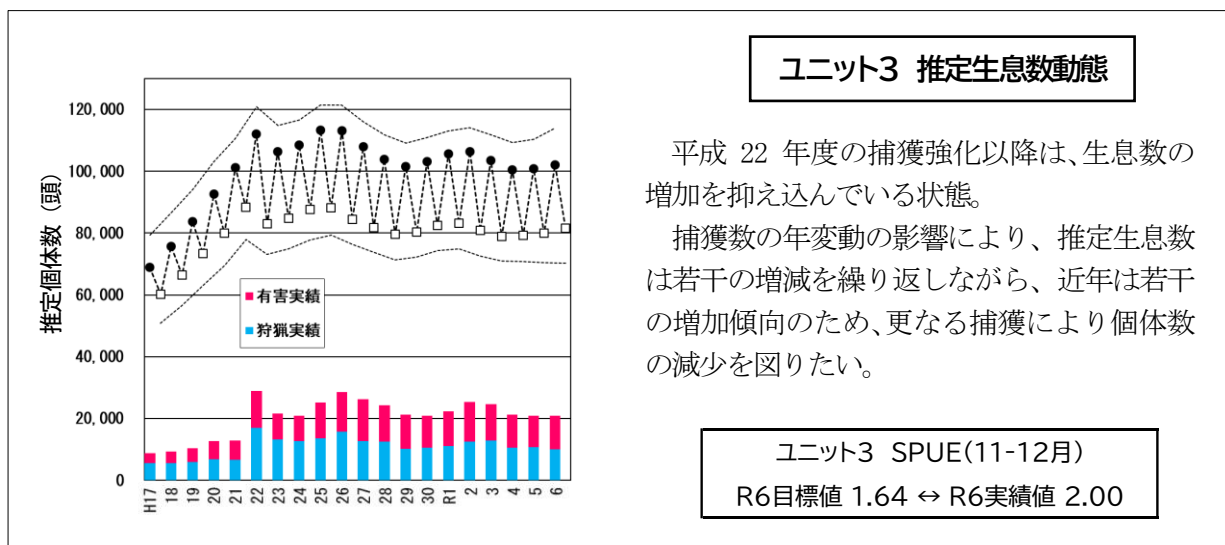


図-23 ユニット3の推定生息数動態

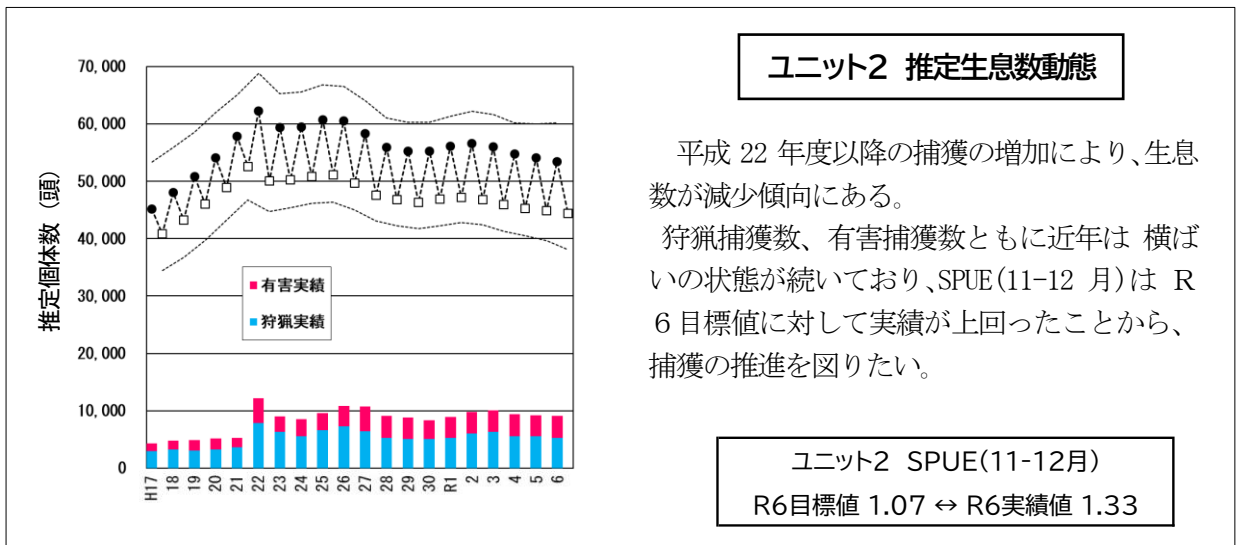


図-24 ユニット2の推定生息数動態

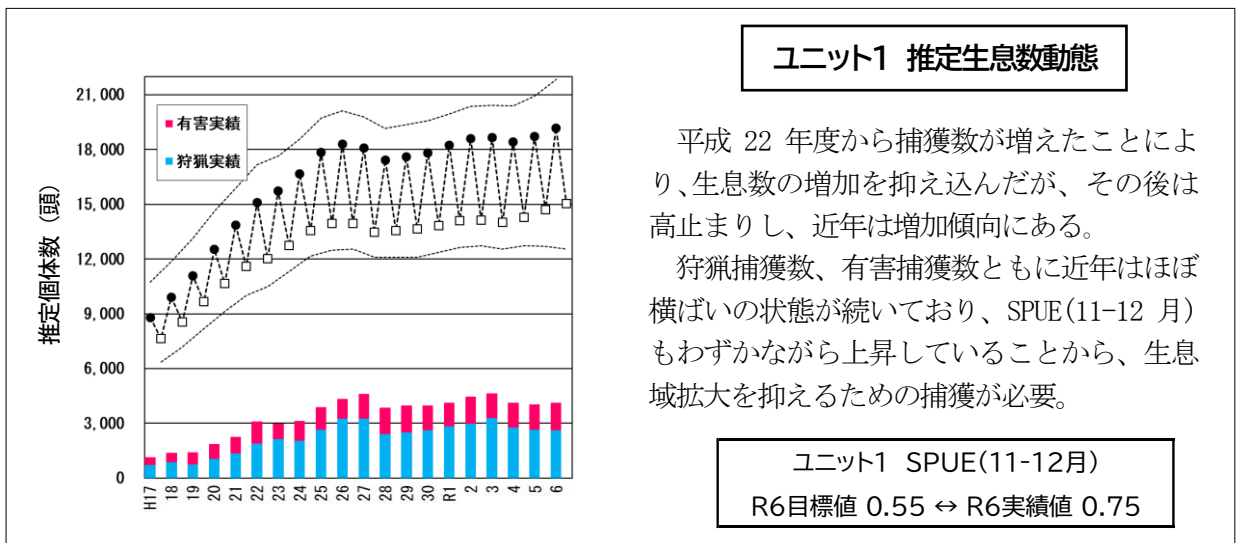


図-25 ユニット1の推定生息数動態

(14) 災害に強い森づくり（野生動物共生林整備等）の実施状況

平成 18 年度から災害に強い森づくり（第 1 期～第 4 期）に取り組んでおり、令和 6 年度までに野生動物共生林整備*1 を 28 市町 283 箇所、針葉樹林と広葉樹林の混交整備**2 を 16 市町 143 箇所、住民参画型森林整備を 28 市町 130 箇所、広葉樹林化促進パイロット事業を 8 市町で 107ha 実施している（表-6）。

※1 第 2 期までの事業名は「野生動物育成林整備」

※2 第 2 期までの事業名は「針葉樹と広葉樹の混交林整備」

表-6 災害に強い森づくり実績（第 1 期～第 4 期・平成 18～令和 6 年度）

単位：面積 ha

事務所名	管内市町	野生動物共生林整備					針葉樹林と広葉樹林の混交整備			住民参画型森林整備		広葉樹林化促進 パイロット事業
		箇所数	区域面積	バッファゾーン 整備面積	共生林 整備面積	うち広葉樹 植栽面積	箇所数	区域面積	広葉樹植 栽面積	箇所数	区域面積	
神戸	神戸市	7	92.00	40.03						11	24.49	
阪神	宝塚市									1	2.00	
	川西市	2	37.00		20.45	0.09				1	2.00	
	三田市	7	162.00	31.54	1.73					3	6.00	
	猪名川町	1	29.00	7.19	0.12							
加古川	加古川市	1	20.00	17.85						7	14.00	
	高砂市	2	60.00	5.46						1	2.00	
加東	西脇市	6	187.00	24.25	7.35		1	30.00	3.84	1	2.00	
	加西市	14	330.00	52.45	2.76					3	6.00	
	多可町	15	280.00	70.04	5.98		19	452.00	34.29	2	4.00	9.28
姫路	姫路市	13	248.00	47.53	1.19		5	144.00	9.45	14	32.54	7.08
	神河町	9	153.00	33.27	20.89		10	268.00	34.32	3	6.00	
	市川町	13	253.00	72.86	11.05	0.60	2	59.00	1.13	11	23.00	
	福崎町	9	221.00	33.55	0.23					1	4.00	
光都	相生市	7	184.00	58.25	0.90		1	30.00	2.01	1	2.00	
	赤穂市	2	56.00	12.64	0.40							
	上郡町	6	156.00	24.72	1.38		1	15.00		1	2.00	
	佐用町	9	194.00	41.81	0.17					6	15.60	1.05
	太子町									1	2.00	
	たつの市	15	349.00	67.19	2.56		3	92.00	10.39	6	15.00	
豊岡	豊岡市	13	351.00	78.18	2.08		7	135.00	6.80	8	16.00	
	香美町	18	354.00	92.79	8.20		8	191.00	5.95	17	43.00	
	新温泉町	10	298.00	73.81	21.17	2.93	2	66.00	2.83	2	5.00	0.60
朝来	養父市	29	587.50	119.33	14.33	0.02	9	211.00	18.69	5	16.00	
	朝来市	25	560.00	142.35	5.35		31	788.00	51.48	5	11.00	15.78
丹波	丹波篠山市	15	325.00	85.40	1.37		10	283.00	29.05	2	4.00	4.82
	丹波市	25	504.00	104.87	2.68		4	81.00	8.18	7	16.00	37.72
洲本	洲本市	3	92.00	21.83						4	8.00	
	南あわじ市	2	22.00	1.13	4.51	0.70				1	2.00	
	合計	283	6,207.50	1,375.20	154.10	6.31	143	3,679.00	291.00	130	298.63	107.23

2 計画の実施体制

